

 鳥取県

令和新時代創造本部 政策戦略監 新時代・SDGs推進課 (R5.2月 作成)

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220 電話 0857-26-7650 FAX 0857-26-8111 E-mail sdgs@pref.tottori.lg.jp

<https://www.tottori-sdgs.com/mirai>



鳥取県SDGs未来都市イメージブック



サステナブルで  
ととのうとっとり

# ととのい帳

t o t t o r i S D G s t o t o n o i b o o k

 鳥取県



# サステナブルで ととのう、とっとりけん

人が地域を支え、地域が人を支える

ずっと住み続けられる、豊かな「人づくり王国とっとり」を目指して  
ととりの未来を、オール鳥取県のパートナーシップで“ととのえ”ます

## #SDGs未来都市、鳥取県

人口最少、経済最小の自然豊かな県、とっとり。小さな県だからこそ、人と人のきずなが結ばれ、共に支え合い生きる「支え愛」につながっています。鳥取県では、こうした地域の強みを活かしながら、未来を担う人財の育成と、地域で活躍する人や企業のパートナーシップを後押しする環境を“ととのえ”、「小さくとも持続可能な地域づくり」を進めています。

2022年には全国の中でもSDGs達成に向けて戦略的に取り組む地域・都市として、「SDGs未来都市」に選定されました。

私が案内します！

### #兎々のえる

2030年の近未来からタイムスリップしてきたサウナー。  
鳥取の持続可能な地域づくりの謎を探る。

## #SDGsとは？

2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。  
17のゴールからなり、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

SDGs: Sustainable Development Goals



## 01 経済・観光

# 環境と両立した 経済・観光の取り組み

鳥取県には大山をはじめとする豊かな自然や美しい星空、  
さまざまな歴史や文化があります。

こうした唯一無二の資源を最大限に生かした  
新たな観光産業が成長することで、経済の活性化を図っています。

Goal select





# 1 大山の 魅力を活かした ネイチャーサウナ

keyword 「サステナブルツーリズム」

## 一向平キャンプ場 五塔 熱子さん

Netsuko Gotou

鳥取県琴浦町に誕生した本格的フィンランドサウナ「NatureSauna」所属のプロフェッショナル・アウトフーサー(熱波師)。令和4年9月には、オランダにて開催されたアウトフーサー世界大会の個人部門フリースタイルで3位を受賞する実力者。2021年春、活動拠点を関東から鳥取県琴浦町へ移し、地域おこし協力隊に所属。町内でサウナの体験会を開いたり、サウナやアウトフーサー啓蒙を通して町の魅力を全国へPRをしている。



株式会社一向平キャンプ場  
石黒鉄平さん



## 「Nature Sauna」

2020年にオープンした本場フィンランド式のサウナを楽しめる観光施設。国立公園内の豊かな自然を体験してもらうための一つのツールとして、一向平キャンプ場に誕生しました。サウナストープに水をかけて発生する蒸気(ロウリュウ)を浴びてその温かさを分かち合う。心身が温まったら、汗を流して、

大山の地下を脈々と流れてきたミネラル豊富な水風呂でクールダウン。その後は国立公園の深い森を駆け抜けてくる風を浴びながらひとやすみ。このルーティンを繰り返すことで心身がととのっていきと言われています。子どもから大人までそこに集う人々との一期一会のひとときがサウナの魅力を底上げしています。

## 鳥取の資源を最大限に活用する

自然や文化を活かした新たなビジネスの創出として、アウトドアツーリズムを推進している鳥取県。その中でも今、話題のプロジェクトとして注目されているのが「ととのうとっとりサウナツーリズム」です。鳥取県の豊かな自然や独自の文化をサウナというフィルターを通すことで、それぞれの価値や重要性を改めて

感じることができ、また人々の豊かさに寄与できるのです。鳥取のサウナを取り巻く環境として、温泉地、サウナ施設、それらを共に盛り上げていく催し、そしてそこに携わる人々の輪が広がってきています。鳥取のサウナを通じて温かい地域のコミュニティに触れることで新たな可能性を見出しています。

### 大山隠岐国立公園内 一向平キャンプ場



住所:鳥取県東伯郡琴浦町野井倉688-130 一向平キャンプ場内  
営業時間:月・木曜日 10:00~17:00(火・水定休、冬季休業12/17~3/15)  
金・土曜日 10:00~20:00 日曜日 9:00~17:00  
HP:<https://tottori-camppark.jp/sauna.html>  
TEL:0858-57-2100



SDGsへのヒント

経済・観光モデル編

### ◎環境共存型ビジネスの創出

鳥取県の唯一無二の自然や文化などを最大限に活用した産業振興



コロナ禍による影響から観光・経済を再生し、更なる発展へつなげていく今、鳥取県における唯一無二の自然や文化を活かした活動や、新たなビジネスとして、サステナブルツーリズムへの取組が進められています。

ととのいました!



## 02 技術・課題解決

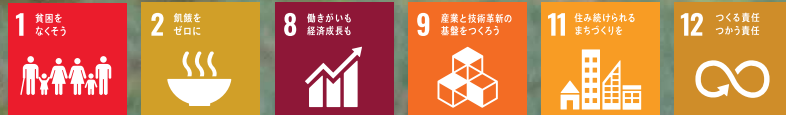
# 地域課題のニーズに合った 技術の活用

品質へのこだわりと、経営規模の拡大の両立が求められる農業。  
これら、2つの課題の両立を可能にする「スマート農業」。

スマート農業の導入で、耕作放棄地の課題の解決や、  
職場環境の改善、品質の向上などを図っています。



Goal select





## 2

# スマート農業や 耕畜連携による 課題解決

keyword 「スマート農業」

## 田中農場 田中 里志さん

Satoshi Tanaka

田中農場2代目社長。作物が本来持っている力を生かして育てる農業にこだわりを持ち、長年にわたって確立してきた独自の土づくりと栽培ノウハウで、30年以上化学肥料を使用せず最低限の農薬しか使用しない農業をおこなっている。独自の通販サイトでは、お米の食べ比べができるなど、バラエティに富んだ商品が掲載されている。

## 40年以上受け継いできた農業への想い

農業は携わりたいという人が非常に少なく、「しんどい」「もうからない」という根強いイメージがあると語る田中さん。天候に左右され売上は年によって不安定、休みはあつてないようなもの。そんな現状の農業を変えるべく、通販サイトで独自の販路を獲得、県内外との営業提携など、多くの挑戦を行ってきました。また、地元の畜

産農家と連携し、たい肥の確保をはじめとした循環型農業へ取り組んでいます。

現在では広大な農地管理の効率化を図るために土壌管理のシステムを導入し、田んぼの状況をクラウド上で管理できるようにしたり、ローテーション作業で交代休みが取れるような仕組みづくりで働き方改革も積極的に進めています。



## 持続可能な未来の農業への挑戦

これまでの農業の“当たり前”を変える挑戦を繰り返してきた田中農場は、次のステップとして持続可能な未来の農業のあり方に着目しました。農業用ドローンを使用したプロジェクトでは、肥料を撒く作業の効率化を図ると共に、作物の生育状況の把握や病気の早期発見、収穫時期の予測などに役立ち、デー

タを駆使することによって、天候などの左右を受けない安定した農業を実現する可能性を秘めています。2代目農場主として、50年後、100年後の日本の農業をより良いものにしていく…そんな強い想いを胸に、鳥取の小さな田舎から、新時代の農業スタイルを示す課題に挑み続けています。



### 田中農場

住所：鳥取県八頭郡八頭町下坂442  
営業時間：9:00～17:00 HP：<https://www.farm-tanaka.jp/>  
定休日：土・日曜日 TEL：050-3198-9749



ととのいました！



## SDGsへのヒント

### 技術モデル編

#### ◎スマート農業の推進

#### 農業用ドローンやGPS等を活用した次世代型農業

農業用ドローンやGPS、アシストスーツなどデジタル技術を活用して、より誰もが取り組みやすく、生産性の高いスマート農業を推進しています。



### 03 まちづくり

## まちづくりに着想した 新たなビジネス機会の創出

中心市街地の遊休不動産の活用や、  
地域人材の創出事業を行う新しい形のまちづくりを支援していきます。

また、多様な働き方をする人や、  
いろいろなことに挑戦したい人などの活動も応援していきます。

Goal select





# 3

## リノベーション した空きビルを 拠点とした まちづくり

keyword リノベーション  
新しいコミュニティとビジネス

株式会社まるにわ

### 齋藤 浩文さん

Hirohumi Saito

鳥取市で生まれ育ち、鹿児島大学の大学院でまちづくりを専攻。研究を行う中で、鳥取県の可能性を感じ、2007年にUターン移住。株式会社鳥取銀行で勤務する傍ら、2015年のリノベーションスクールをきっかけに、当時の仲間と共に鳥取のまちづくり会社として「株式会社まるにわ」を設立。鳥取駅前の空きビルをリノベーションしたビルで活動中。



### 暮らしが誇れるまちに

大学時代からまちづくりを研究していた齋藤さんは、鳥取県を「まちづくりの最先端になるまち」だと語ります。人口最小県であり、遊休不動産や空き家など多くの地域課題を抱える鳥取県ですが、その反面、活躍の場が数多く存在します。

そんな鳥取県の課題に対し、まちづくりを通して解決していく「まるにわ」は、鳥

取駅前の空きビルをシェアハウスとワークスペースにリノベーションした「マーチングビル」を拠点に活動しています。オンラインサロンの開催や、地域人口と外部人口で一緒に事業を生み出すプログラムなどを実施。まちづくりに関わる若い人材や団体を増やし、「自分達の暮らしが誇れるまち」を目指し活動しています。

### 地域人材とリノベーション

まるにわでは、「遊休不動産利活用に関する課題発掘・解決方法の模索」や、「解決策の具体化」、「まちづくり人材の発掘・育成」、「街中情報発信」など鳥取駅周辺の活性化を促す数多くの事業を実施しています。その中でも、3ヶ月に及ぶまちづくりワーケーションプログラムでは、鳥取のプレーヤーと都市部の関係人口メン

バーでまちづくり課題に取り組みます。また、リノベーションを行った建物でシェアハウスも運営。まちなか暮らしを楽しむ場として提供すると同時に、関係人口と地域人口が交流する拠点にもなっています。このように、まるにわでは日々、地域課題に着目した新しいビジネスが創出されています。

#### 株式会社まるにわ

住所：鳥取県鳥取市栄町627  
営業時間：9:00～17:00 HP：<https://www.maruniwa-tottori.com/>  
定休日：土・日、年末年始 他



SDGsへのヒント

まちづくり編



#### ◎空き家・空き店舗の利活用推進

地域の課題を解決し、新たなビジネスへと昇華する取組

鳥取県では、空き家を活用した移住定住推進のために、市町村が実施する空き家確保支援、空き家改修や空き家を活用したお試し住宅等の整備などの支援に取り組んでいます。

ととのいました！





## 04 移住者支援

# 豊かな里山の暮らしを 未来につなげる。

里山の魅力の発信・活用を通じて  
交流人口の増加や生涯活躍のまちづくりを進めています。

Goal select

- 4 質の高い教育を  
みんなに 
- 10 人や国の不平等  
をなくそう 
- 11 住み続けられる  
まちづくりを 
- 15 陸の豊かさも  
守ろう 
- 17 パートナリシップで  
目標を達成しよう 





# 4

## 魅力ある 里山を守り、 関わる人を拡大

keyword 移住者支援

特定非営利活動法人  
なんぶ里山デザイン機構

### 板持 照明さん

Teruaki Itamochi

なんぶ里山デザイン機構の事務局長。役場を退職後、地域の方々と関わり町のために働きたいと考え入社。役場との連携、調整を行いながらチーム全体をまとめている。

### 西重 まりさん

Mari Nishishige

なんぶ里山デザイン機構の移住コーディネーター。南部町出身でUターン。南部町を活性化させたいと活動する情熱を持った地域の方に出会い、自らも南部町のために働くことに決意し入社。移住相談や空き家事業の窓口として、移住者の心の拠り所になっている。

### バラエティに富んだ移住者支援

鳥取県南部町は、里山の環境が守られている貴重な場所です。そんな南部町で里山の豊かな環境を守り、自然豊かな生活環境を提供する「NPO法人なんぶ里山デザイン機構」は、里山を体験するワークショップなどを開くほか、豊かな里山で暮らしたい人には空き家を提供したり、移住した方の相談窓口にもなっ

ています。「里山で暮らす一人ひとりに生き活きと生活していただくためのお手伝いをしています。」と語るデザイン機構の板持さんと西重さん。実際に南部町に移住する方はさまざまで、自然の中で子育てをしたい方、農業やカフェをしたい方、アーティストなど、南部町が多くの人を惹きつけています。

### 里山の自然の魅力を伝える

南部町の自然の魅力を伝えることも、なんぶ里山デザイン機構が取り組む活動の一つです。

移住者の中には、里山を守る一員の自然観察指導員として、里山体験やガイドをしながら、地元の方々と生き物たちを守る活動に取り組む方も。里山の魅力が伝わることや、県内外の多くの人と繋がるこ

とで地域にも変化が生まれています。「困ったことがあればデザイン機構にと思ってもらえるよう、縁と縁をこれからも繋いでいきたい。」と西重さんは語ります。

デザイン機構が活力をもたらす南部町のように、一人一人が故郷の自然に愛着をもち、豊かな自然や生き物たちが守られることも、鳥取県の目指す姿です。



特定非営利活動法人 なんぶ里山デザイン機構

住所：鳥取県西伯郡南部町浅井938  
営業時間：8:30～17:15 HP：<https://www.nanbu-satoyama.jp/>  
定休日：土・日・祝日 TEL：0859-21-1595



とのおいしかったです！



SDGsへのヒント

移住者支援編



◎移住につながる関係人口獲得を目指した取組の推進

「移り住みたい」人をサポートする取組

関係人口とは、観光などの交流人口と違い、特定の地域と継続的に多様な形で関わる人々を指します。鳥取県の豊かなフィールドを活用し、関係人口の拡大を目指すことで移住につなげる取り組みを推進しています。

小さくとも持続可能な  
地域づくりを目指して。



ととりの未来を創る子どもたちも、  
将来の姿を思い描きながら  
地域や企業と協力して  
様々な活動を進めています。



鳥取にあるもの、ここで暮らす一人ひとりを大切に  
たくさんの人、企業が、地域で活躍しています

「リトルで利取る」

小さな県は、顔の見えるパートナーシップと、小回りが強み  
SDGs人財による、地域の強みや資源を活かした取組は  
持続可能で“ととのう”地域の未来につながっています

2030年を目指す“鳥取のすがた”

経済	次世代チャレンジの創出と 産業のスマート化による豊かな経済
環境	人口減を克服し、誰もが安全安心に 住み続けられる地域
社会	唯一無二の自然環境を 未来に継承する脱炭素社会

鳥取県では、地域の強みを活かしながら、  
未来を担う人財の育成と、

地域で活躍する人や企業のパートナーシップを  
後押しする環境を“ととのえ”、

「小さくとも持続可能な地域づくり」を進めていきます。

